

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス SOALA原田校				
		公表日 2026年 1月 9日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		運営基準の広さを確保しております。また、指導室を区切る事で発達段階に応じた活動にも対応できるように配慮しています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		運営基準である児発管、国から出されている運営基準は、管理者+2名の児童指導員です。これに加えて1名の正社員と1名のパート児童指導員を配置しております。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		玄関や各部屋への段差ではなく、車いす等でも問題なく活動できるよう配慮しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃を徹底して行っております。また、教具や送迎車などは抗ウイルス、抗菌加工を施しております。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		静養室を準備しており、必要に応じて子どもたちの休憩の場として使用できるようにしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		社内自己評価システムを導入、また毎月の面談を実施し、職員全員がPDCAサイクルで目標設定と振り返りを行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		自己評価表のご回答ありがとうございました。結果につきましては会社のHP及び県にも共有しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日のMTG、月1回の管理者との面談、半期に一度の社長面談を行っており、常に業務改善に繋げております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		県からの運営指導にて、第三者の評価を受けております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月一回の社内研修に加え、外部講師による階層別研修を受けております。また、虐待防止や支援に関する研修も受けております。	
支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		インスタグラムでの公表や、資料配布を行っております。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		個別支援計画は半期に一度見直しを行っております。必要があれば随時相談を受け付け、支援に反映しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		会議の場を設け、利用者の方の願いを第一に考えながら職員全員で作成を行っております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		全職員がいつでも確認できるようファイリングしております。また、定期的に情報共有や振り返りを行っております。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		社内の共通ツールを用いて記録に残し把握しております。	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインを踏まえて必要な支援を5領域ごとに提供しております。作成後はアセスメントを行っております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎日の活動やイベントなど活動プログラムは全員で話し合い作成しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		5領域の内容に沿って活動が固定化されないよう職員で話し合い内容を決めております。SSTや制作、運動遊びではパリケールやリズムジャンプを新たに取り入れています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		利用者の方の状況に合わせて、個別と集団どちらも支援できるよう支援計画の内容を全職員で話し合っております。実践したことに対する振り返りもミーティングなどで毎日行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝や夕方のミーティングで支援内容や役割分担など確認し、全員で連携をとって支援にあたっております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援をした後の振り返りを行っております。ミーティングや社内共通のツールを使い共有しております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		活動の記録を毎日入力し、支援の改善につなげております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		訪問や電話、支援報告書など様々な方法でモニタリングを実施しております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		ガイドラインの4つの基本活動を含めた総合的な支援を提供しております。利用者の発達段階に合わせた内容を考え提供するよう努めています。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自己選択が難しいお子様に対しても、自己選択できるよういくつか選択肢を提示し、自己決定の場を設けております。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者会議の前に利用児童の状況を資料にまとめ、管理者や指導員が参加しております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		関係機関との連携を図るため、支援に必要な情報をまとめたものを共有しております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎時以外に、学校や園と月一回は情報共有するための場を設けております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		定期的に訪問したり電話で話したり、情報共有に努めています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		相談新事業所の方とも連携を取りながら移行支援のサポートを行っております。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		専門性の高い意見を取り入れながら連携を図っております。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5		地域の公共施設の利用を通して地域の子どもたちと交流できる場を設けております。	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5		筑紫野市の協議会に参加しております。	

	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時だけでなく毎日の支援を写真や動画でも報告したり、月一回のヒアリングでお子様の成長や課題を共有しております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		毎月1回ペアレン特・トレーニングを実施しております。また、「そらのひろば」という保護者の交流の場も毎月1回以上実施し、研修や交流できる機会を設けております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に資料を提示しながらご説明させていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		アセスメントを元にお子様、ご家族様にとつての最善の利益を考え支援計画の作成にあたっております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		アセスメントに基づいた放課後等デイサービス計画の作成をしております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて相談支援事業所と連携を行い保護者様が安心して子育てに向き合えるようご支援しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		毎月1回以上「そらのひろば」を通じて、保護者様同士の交流、連携をお手伝いしております。またご家族の方の参加できるイベントも開催し、きょうだい同士での交流の場も設けております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		事業所内において苦情窓口の設置をし、市町村の苦情窓口へのご案内も行っています。迅速かつ適切な対応に努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタ等のSNSを通じて活動内容を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報保護の同意書をもとに慎重かつ丁寧に扱っております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		必要に応じて視覚情報の導入を行い意思疎通を図っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		土曜日のイベントの際に外部のゲストティーチャーを招いております。また、親子参加型のイベントにおいては兄弟児の受入れも行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルをもとに毎月訓練を実施しております。イベントにも組み込み保護者様への周知も行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		月に1回マニュアルを元に避難訓練、防犯訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		アセスメントにも服薬やてんかん等の状況を把握しております。職員間でも共通認識を図り、対応できるよう努めています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		該当のお子様に関しましては保護者様とも情報共有を行いアレルギー食品の除去や代用品で対応しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		年間を通じた安全計画を実施しております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		面談の際にご説明することで周知しております。	

	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット記入の際は全体で対策や再発防止に向けた会議を行い記録を保管しております。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		マニュアルを元に虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、会議の開催や虐待防止研修を実施しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束の取り扱いに関しましては全職員研修を受け、実施する場合にも必ず本人や保護者への説明を丁寧に行ってまいります。	